

韓国ソウル

東国大学校
留学に関する報告

高知大学
土佐さきがけプログラム
国際人材育成コース

滞在期間 2014年2月~2015年3月

○滞在期間

2014年2月27日～2015年3月17日（384日間）

○滞在场所

東国大学校 ソウルキャンパス 동국대학교 서울캠퍼스

○主な活動

語学堂、大学の講義、サークルへの参加等。

○渡航までの準備

高知大学への書類提出、東国大学への書類提出、ビザの申請、留学保険の申し込み、航空券の手配等。

○渡航後にしなければいけないこと

外国人登録、口座開設等。

○感想

語学力の向上だけでなく、さまざまな人との出会いや経験を通して、自分と向き合う良いきっかけになった1年だったと思います。

私はこの1年、東国大の語学堂に通いながら大学の授業を受講しました。そこでたくさんの先生方や学生と知り合いました。そういった出会いのなかで、韓国人学生の大学生活のことや徴兵制等の経験談を聞いて新たに学ぶこともあり、とても刺激的でした。また、日本に対して親近感を持ってくれている人がたくさんいました。彼らからドラマやアニメ、映画などを見て日本に興味を持つようになったと聞き、日本の大衆文化の影響力を感じました。楽しいことばかり経験したわけではありませんが、そのこともかけがえのない経験になったと思います。長期の休みの日には地方にも足を伸ばし、充実した留学生活を送ることができたと思います。

滞在期間は当初半年の予定でしたが、またとないこの機会を活かしてもっと多くのことを学びたいと1年に延長しました。関係者の方々にはご迷惑おかけしましたが、ご支援頂き感謝しています。

留学で得た学びを今後も活かしていきたいと思います。そして、留学に際してお世話になった全ての方々に感謝しています。ありがとうございました。

～韓国ソウル 東国大学留学～

韓国にこれから留学しようと思っている、どこの大学にしようか迷っている、また留学するかどうか自体迷っている方もいると思いますが、出来るだけ参考になるように私の経験をお伝えしたいと思います。

1. 韓国に留学した理由

高校生の時に韓国のドラマや音楽を好きになり、韓国に留学して韓国語が話せるようになりたいと考えていました。大学入学後は英語や中国語を勉強しなければいけなかったのですが、授業では履修せずハングル検定等を受けながら独学で勉強していました。将来のことを考えると、英語を学んだほうがいいのではないかと考えたこともありましたが、一度強い関心を抱いた国なので行かなければ後悔しそうだと思い、韓国に決めました。

2. 東国大学に決めた理由

いろいろな人やものに出会えるチャンスが多いところに行きたいと思い、ソウルでの留学を考えていました。協定校のなかに、ソウルにある大学がいくつかありましたが、その中でも、共学で規模が大きいく所に絞りました。特に、東国大はソウルの中心にあるので交通の面でも便利であり、韓国有数の仏教系の大学であるということにも興味を持ちました。

3. 語学堂について

初級は午後から、中級以上は午前中からの授業です。大学の履修登録をする際に、時間がかぶらないように注意が必要です。費用は 15,000 ウォンで学期開始前に振り込みをしなければいけません。渡航後の語学堂の最初のクラスは、筆記テストと会話のテストを受け、その結果により振り分けられます。東国大学の語学堂は、日本人は比較的少ない方だと思いますが、やはり中国からの留学生が大半を占めており、授業外は中国語が多く飛び交います。1 クラス 10 人ほどのクラスで編成されています。級にもよりますが、単語テストと課題、発表や演劇などがあります。文化体験としてミュージカルを観に行く等の行事もあります。

4. 大学の授業について

高知大は履修登録の際、定員がある講義の場合抽選をしますが、東国大は早い者順で履修できるかが決まっていきます。授業の内容に関して、私は、日本語学科の授業を中心に履修していましたが、韓国語による発表や日本語による発表も行いました。発表内容は、日本語の文法や日本の幕末史についてです。日本語学科の授業を

履修していたため、韓国人学生とは自然と仲良くなれたと思います。他の授業でも、チームで作業するうちにだんだんと交流が増えて行ったように思います。

5. サークル活動について

韓国の大学では日本ほどサークル活動が盛んではないようですが、運動系文化系さまざまなものがあります。私は、東国大の学生が外国人に韓国語を教えてくれるサークルに参加しました。韓国人の学生1人が教壇に立ち、また生徒1人1人に対しても補助として学生がついて教えてくれました。基礎から高級までクラスが4つに分かれています。また、韓国のサークルではMTという仲間との親睦を深めるための合宿のようなものがあり、みんなでゲームをしたりお酒を飲んだりします。飲みたくなくても断りづらい雰囲気ではあると思いますが、自分の身のために無理しないように気をつけることが大切だと思います。他のサークルも頻繁に飲みに行く機会が多いようです。また、東国大のホームページに部活動・サークル活動一覧が載っているので、一度調べて連絡を取ってみるといいと思います。

5. 寮

2012年に新設された南山学舎に住んでいました。2人部屋で、基本的には同じ国同士の学生が一緒になるようです。部屋の設備には、洗面所、シャワー、トイレ、ベッド、クローゼット、机がありました。その他ハンガー等何もないので、すべて自分で用意します。エアコンがあり、オンドルという床暖房があるので冬に寒くて居づらいということはありませんでした。また規則に関して、違反すると点数が引かれるようになっており、退寮の場合もあります。寮にはキッチンはなく、洗濯室、コンピューターブースなどがあり、すぐ前には、コンビニと食堂があります。近くにジムもあり多くの学生が利用しています。



6. その他の施設

学校の中には、郵便局、新韓銀行があります。食堂やレストラン、カフェ、コンビニなどが至るところにあり、キャンパス内に寺院もあります。

7. 私の留学先での1日

午前中に語学堂、午後から授業を受けていました。授業後は、寮やカフェで課題をしたり自習をしたりしていました。韓国人の友達だけでなく、語学堂の友達とも出掛けることが多かったです。部屋では、ドラマを見たりラジオを聞いたりして勉強していました。周りの留学生を見ると、趣味のミュージカルを観に行ったり、音楽番組の観覧に行ったりしている人もいました。授業後は疲れて外に出るのが億劫な時もありますが、時間があるうちにどんどん出掛けておいたほうがいいと思います。

8. 留学生生活を終えて

それまで自分の知っている世界がとても小さかったのだなと感じたとともに、これからいろいろな世界を知って行きたいなと思いました。また、留学中出会った人たちに高知はどんなところかを聞かれ、地図を見せて説明したりしていましたが、もっと高知についてアピール出来るようにしておいた方が良かったなと思います。

上記に記したことは、私が留学した年の内容なので、今とは多少変更になっている部分があると思います。今現地に行っている人を国際交流課の方に紹介してもらい、連絡をとって常に新しい情報を手に入れることを勧めます。

最後になりましたが、留学中支えてくださった方々に感謝します。ありがとうございました。

2015年5月

高知大学土佐さきがけプログラム
国際人材育成コース
4年生

～韓国での食事～



○짬닭 (チムタク)

唐辛子がたくさん入っていますが、日本人の口に合いやすい味の鶏肉の甘辛い料理です。



○学食

日替わりのセットで大体 300 円前後です。その他、ビビンバや海苔巻きなどもあり、キムチやたくあんは無料です。



○パッピンス

韓国版のカキ氷で、ふわふわの氷の上に果物やあずき、きなこ、アイスクリームなどがのっています。これは、「ソルビン」という有名なチェーン店のもので、学校の近くにもあります。